

クビナガキベリアオゴミムシ *Chlaenius prostenus* Bates

【選定理由】

低地の湿地に生息する全国的にも稀少なゴミムシである。本種は特に溜池などの止水環境に限定して分布する傾向が強い。近年では溜池をはじめ低地の止水環境は悪化の一途をたどっており、本種の生息状況は年々危機を増している。

【形態】

中型のゴミムシで一見同じような環境に生息するヒメキベリアオゴミムシに似るが、本種は前胸の中が広く腹板が褐色であることなどから区別できる。

【分布の概要】

【県内の分布】

尾張旭市の2箇所の溜池(岩崎・蟹江, 1990)から記録されている。

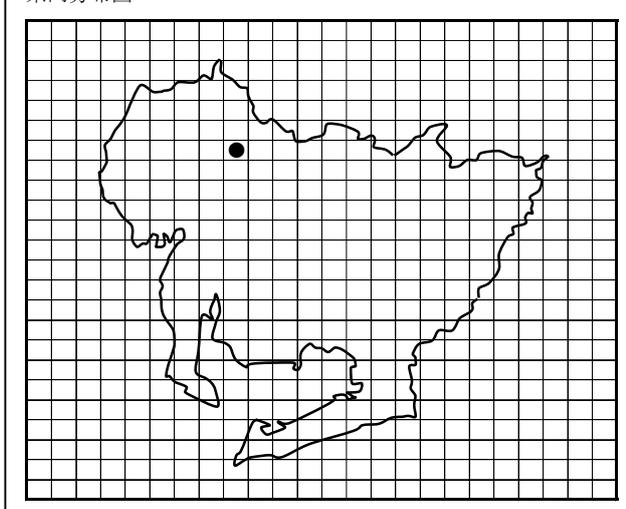
【国内の分布】

本州、四国、九州。

【世界の分布】

中国。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

低地の湿地、特にため池等の水辺および周辺の湿潤な草むらに生息する。近縁のヒメキベリアオゴミムシが水辺一般の広範な環境に生息しているのに対し、本種は止水域の周辺に限られる。

【現在の生息状況／減少の要因】

灌漑用の水路の発達とともに溜池の利用価値が低下し、埋め立てによる生息地の消滅や雑排水の流入による水質の悪化、また公園化による水辺環境の人工的な改変など生息環境は悪化している。本種は尾張旭市内の濁池、大道平池の2箇所から記録されているが、いずれの地でも近年の調査では生息が確認できていない。

【保全上の留意点】

自然度の高い溜池の保全が急務。雑排水の流入をできる限り制限し、あわせて周辺の草地や樹林の保全が必要である。

【引用文献】

岩崎 博・蟹江 昇, 1990. 愛知県のオサムシ類. 愛知県の昆虫, (上): 309-338. 愛知県.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)